

株式会社スクロール
2011年3月期第1四半期決算説明
(2010年4月1日～2010年6月30日)

(東証1部:8005)

目 次

- 2011年3月期第1四半期決算概要
- 中期経営計画の概要
- 2010年度の取組概要及び進捗状況
- 2011年3月期第2四半期(累計)及び通期業績予想

- スクロールの目指す未来像 3カ年目標
- 当社を取り巻く外部環境

2011年3月期第1四半期決算概要

ハイライト【連結】

(百万円)

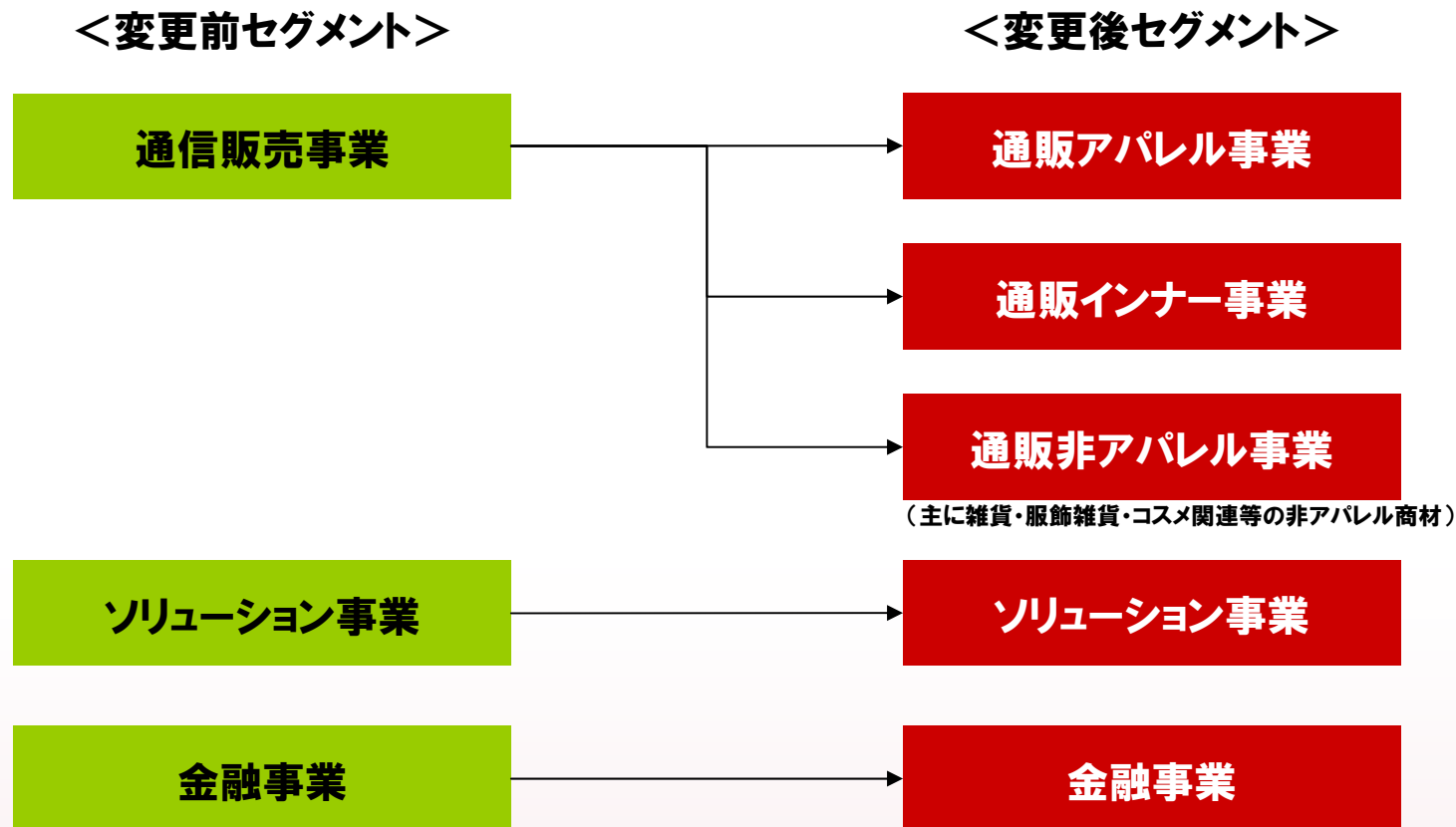
	2009年3月期 第1四半期実績	2010年3月期 第1四半期実績	2011年3月期 第1四半期実績	増減額(増減率) 対前期実績
売上高	15,974	15,152	15,115	△36 (△0.2%)
営業利益 (営業利益率)	1,200 (7.5%)	1,123 (7.4%)	1,369 (9.1%)	+246 (+21.9%)
経常利益 (経常利益率)	1,264 (7.9%)	1,192 (7.9%)	1,433 (9.5%)	+241 (+20.3%)
四半期純利益	876	1,139	827	△312 (△27.4%)
1株当たり四半期純利益	31.88円	41.69円	30.25円	△11.44円
自己資本利益率(ROE)	4.1%	5.7%	3.9%	—

■対前期実績：「減収増益」

- ・売上高は、消費不振等の影響による売上減少を株式会社イノベートの子会社化により補い、ほぼ横ばい。
- ・利益については、全社的な経費削減「プロジェクト50」により増加。(約157百万円経費削減)
- ・ただし、四半期純利益は、前期までに繰越欠損金を解消したため減少。

セグメント開示の変更

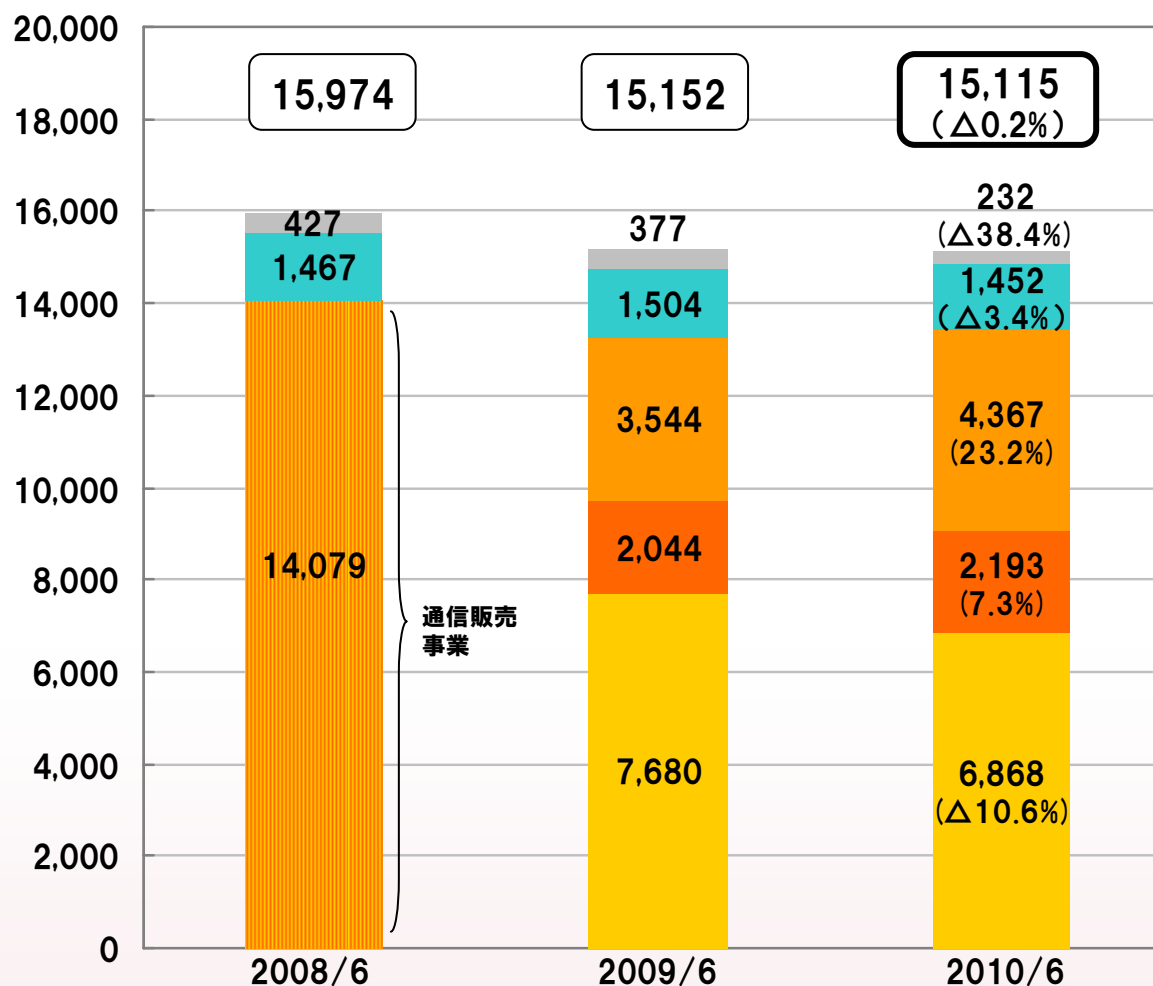
- 2011年3月期から下記内容に変更
- 通信販売事業において、より詳細なセグメント開示に



セグメント別売上高の推移【連結】

- 通販アパレル事業は、流行の影響を一番受けやすい商材を扱うため、消費不振等の影響により減収。
- 通販非アパレル事業は、(株)イノベートの子会社化にともない増収。

(百万円)



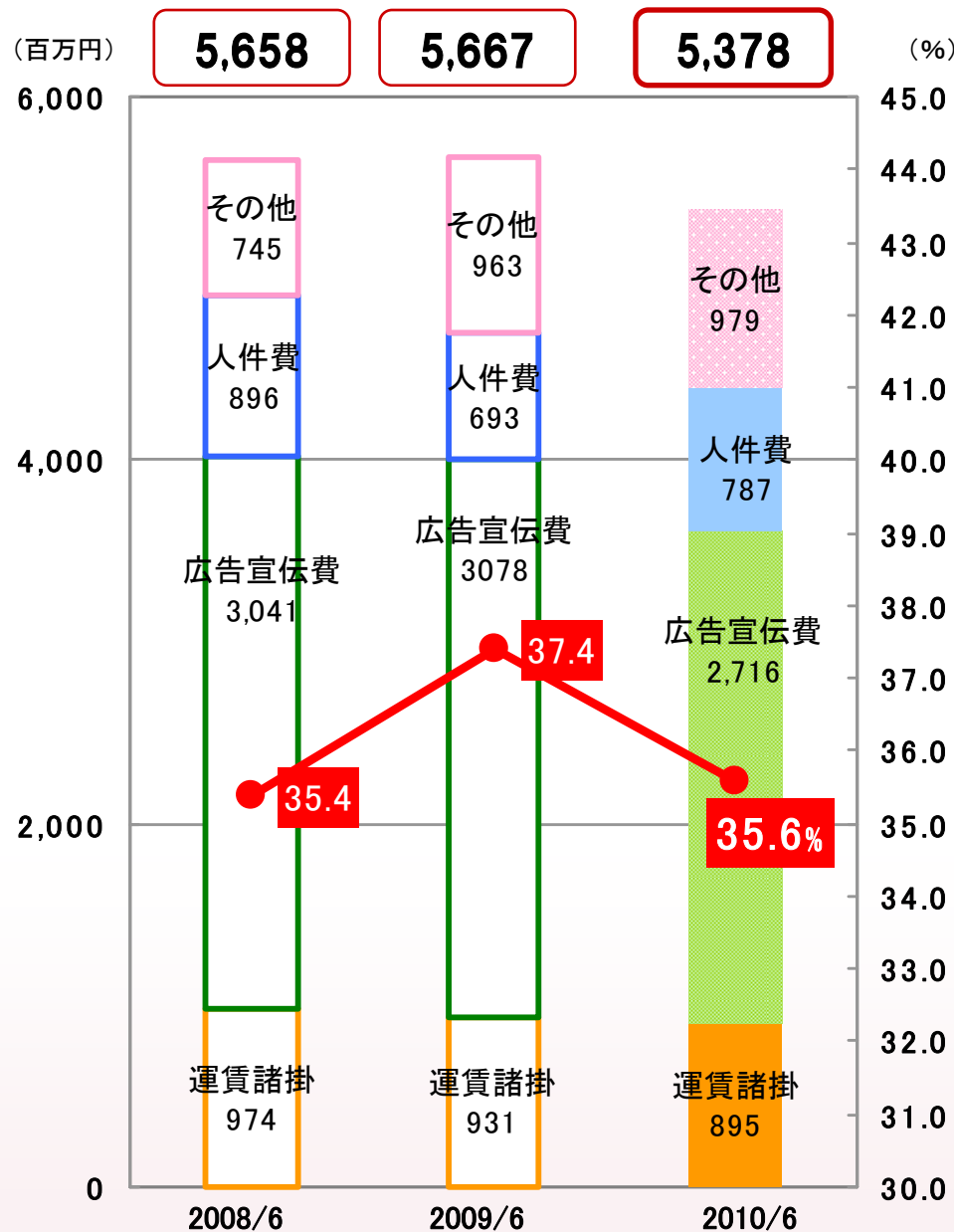
※2010/6数値の()内は前期対比の増減率

□ 連結売上高

※2009/6期は、新セグメントに組み替えて記載しております。

- 金融事業
- ソリューション事業
- 通販非アパレル事業
- 通販インナー事業
- 通販アパレル事業

販売費及び一般管理費の推移【連結】



人件費
 [+]業績連動型賞与の増加
 [+] (株)イノベート分増加

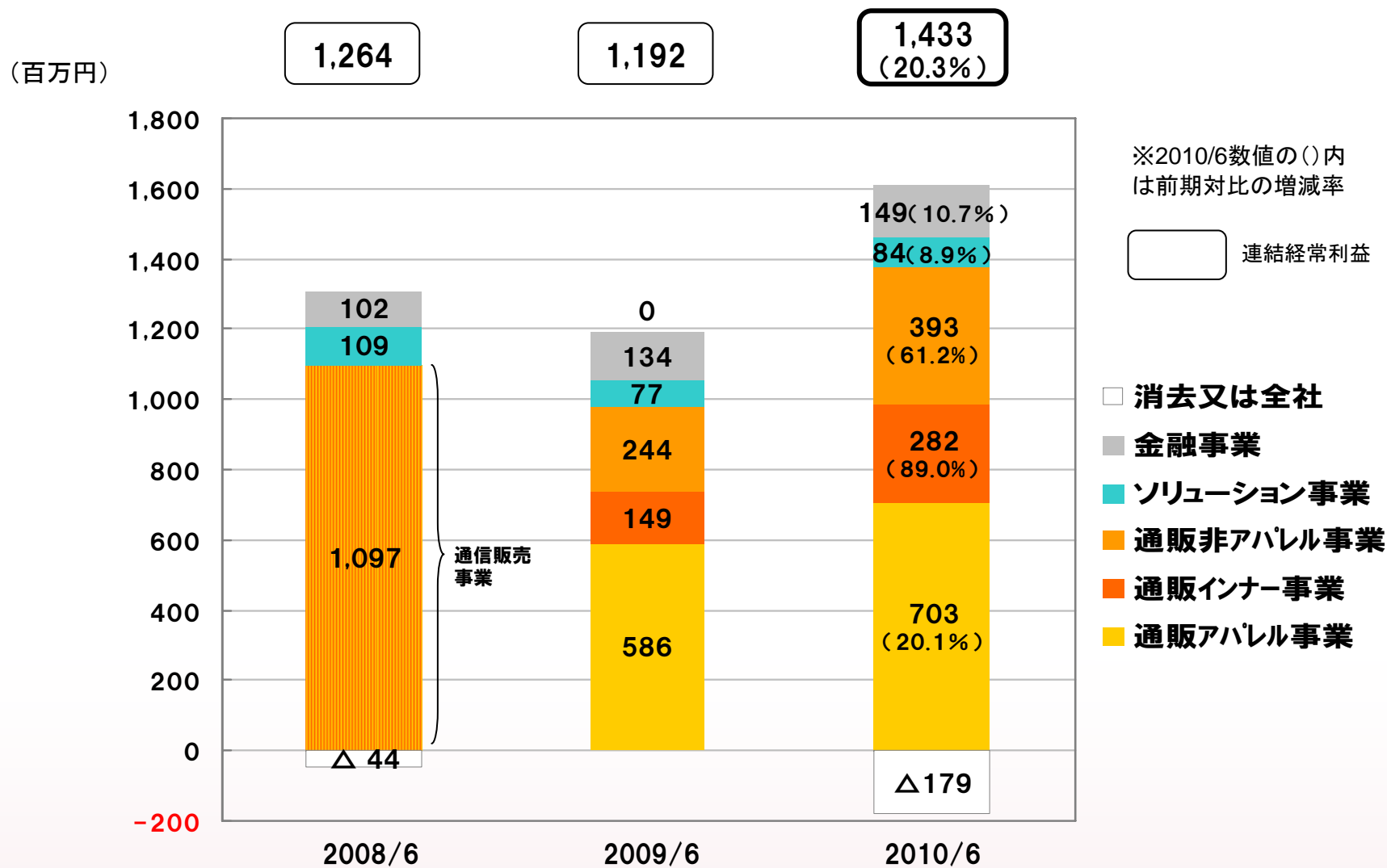
広告宣伝費
 [-]カタログの効率的な配布による部数削減
 [-]用紙代の削減
 [+] (株)イノベート分増加

その他
 [-]出張費削減等による減少
 [+] (株)イノベート分増加

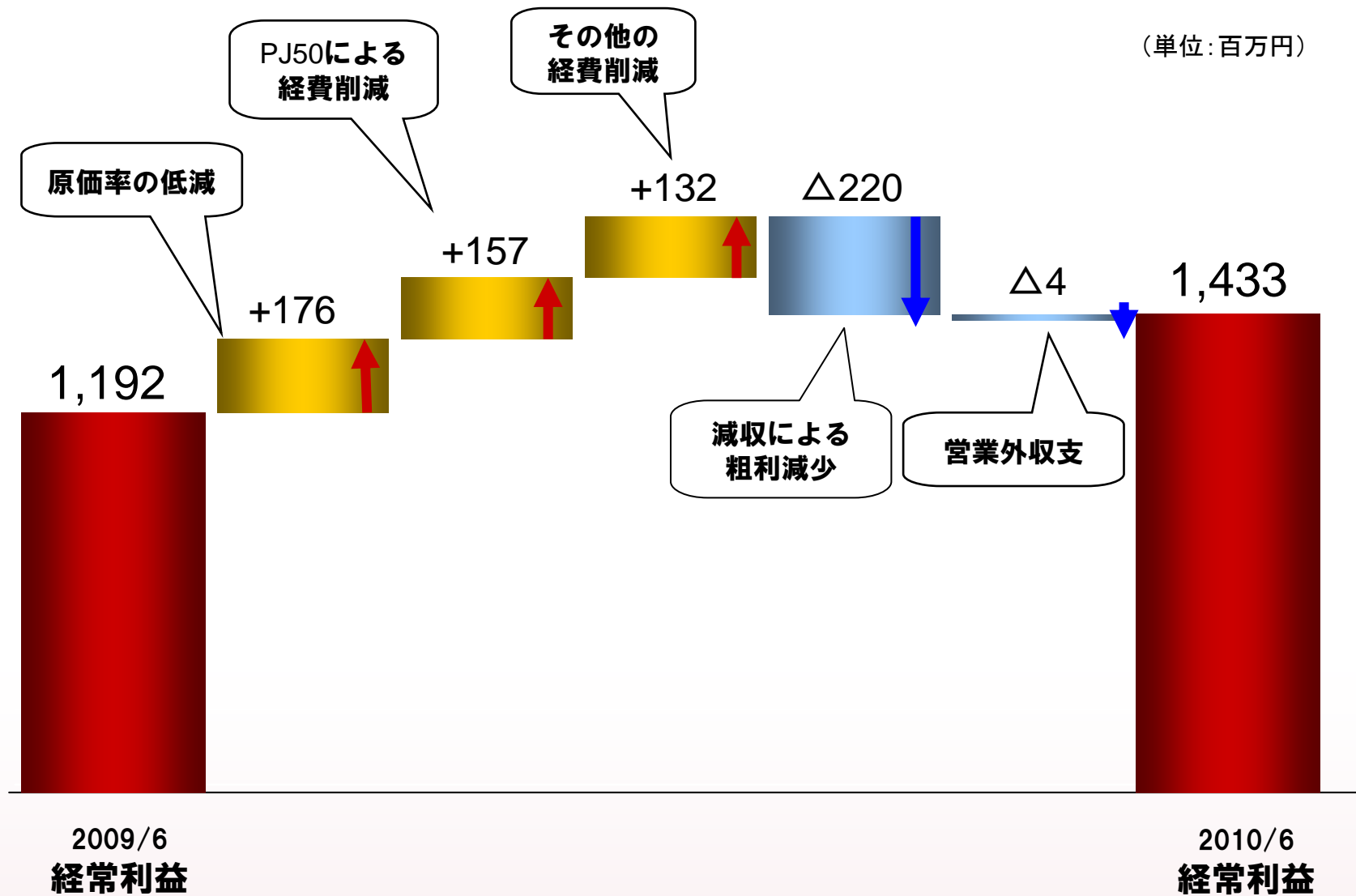
 *経費削減プロジェクトPJ50による販売費及び一般管理費における効果は、約157百万円。
 (PJ50は2009年4月から実施)

● 販売費及び一般管理費比率

セグメント利益の推移【連結】



経常利益増減分析【連結】



貸借対照表の推移【連結】

(百万円)

<主な増減項目>

	2010年3月期末	2011年3月期 第1四半期末	増減
流動資産	26,690	26,231	△458
固定資産	13,018	13,742	+724
資産合計	39,708	39,974	+265
流動負債	11,089	11,597	+507
固定負債	7,856	6,931	△924
負債合計	18,945	18,528	△417
純資産合計	20,763	21,445	+682
負債純資産合計	39,708	39,974	+265
自己資本比率	52.3%	53.5%	+1.2P

現金及び預金 $\Delta 2,263$
 ⇒ (株)イノベート株式取得による減少
 商品 $+1,780$
 ⇒ 在庫リスクを持つ直買の推進による増加

無形固定資産 $+799$
 ⇒ M & Aに伴うのれん計上

支払手形及び買掛金 $\Delta 605$
 ⇒ ファクタリング導入、
 売上減に伴う仕入れの減少
 短期借入金 $+1,400$
 ⇒ M & Aに伴う増加
 未払金 $\Delta 243$

長期借入金 $\Delta 900$
 ⇒ 長期借入金の返済、
 短期借入金への振替

利益剰余金 $+690$

キャッシュ・フローのポイント【連結】

(百万円)

	2010年3月期 第1四半期	2011年3月期 第1四半期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	970	△486	△1,457
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12	△977	△965
財務活動によるキャッシュ・フロー	△636	△799	△163
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	0	△1
現金及び現金同等物の増減額（△減少）	323	△2,263	△2,587
現金及び現金同等物の期首残高	6,151	6,017	△134
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,475	3,753	△2,721

■営業活動によるキャッシュ・フローの主な内訳

税金等調整前四半期純利益	1,416百万円
営業債権の増減額	445百万円
たな卸資産の増減額	△659百万円
未払債務の増減額	△1,341百万円
法人税等の支払額	△461百万円

⇒ 金融事業を休止

■投資活動によるキャッシュ・フローの主な内訳

連結範囲変更を伴う子会社株式の取得支出	△864百万円
有形固定資産の取得による支出	△242百万円

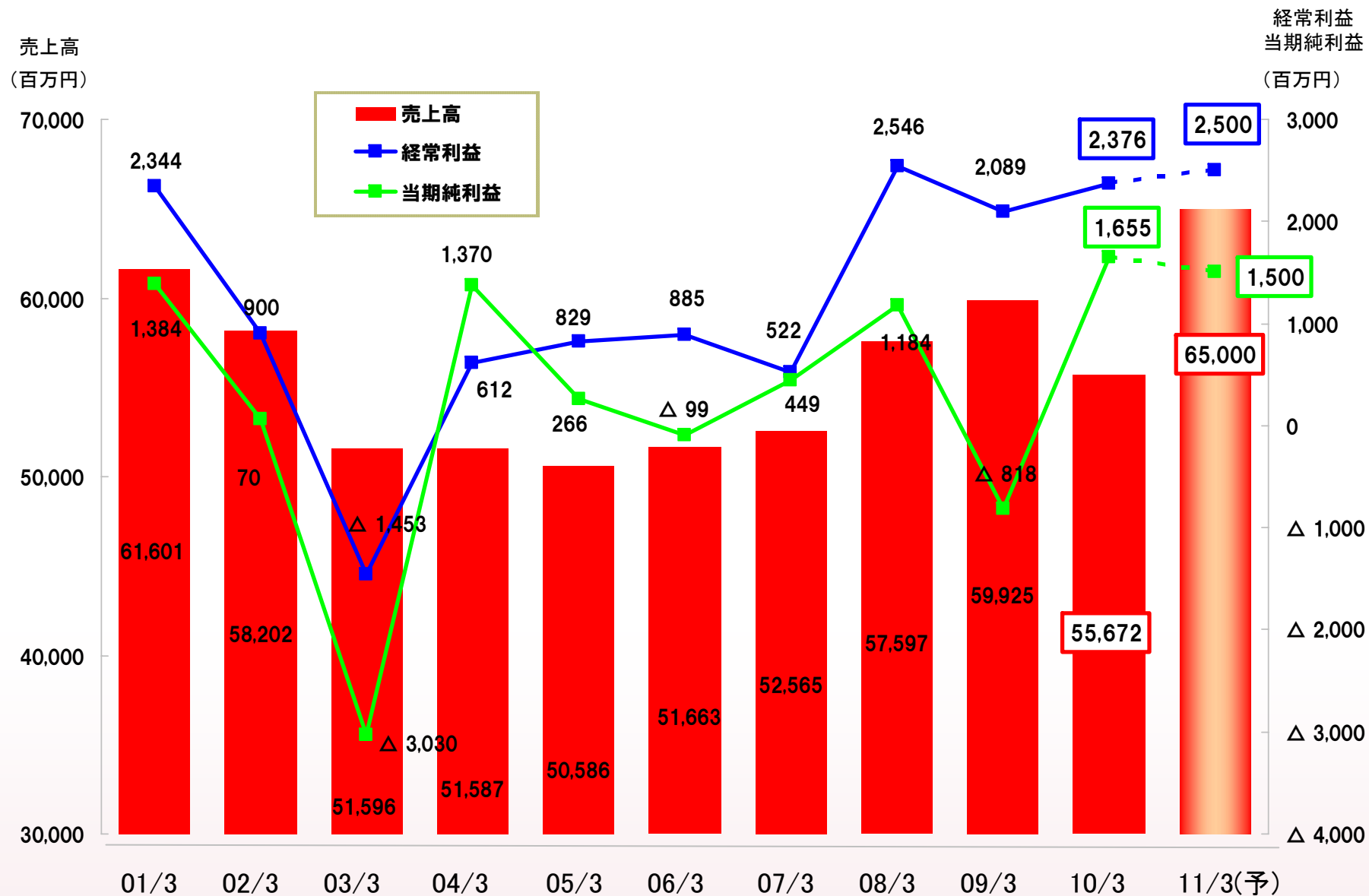
⇒ (株)イノベートの子会社化

■財務活動によるキャッシュ・フローの主な内訳

借入金の返済による支出	△663百万円
-------------	---------

中期経営計画の概要

過去10年間の連結経営成績



中期経営計画 基本テーマと進捗 ～今期が最終年度～

【中期経営計画基本方針】



【2007年度～2009年度の主な取組み】

破壊

- 経営理念の刷新
- 人事制度改革
- 年金制度改革
- 3大経費の削減
(物流費・販促費・人件費)
- 金融事業からの撤退

創造

- 主要3事業の見直し・再構築
 - ・通販事業:インターネット事業モデルの構築
 - ・生協事業:売場面積の拡大、ネットビジネスへの取組み
 - ・ソリューション事業:グループ内事業再編成、磐田倉庫新設、新システム開発
- 新たな経営管理システム(STEP経営)導入
- コーポレート・フィロソフィの整理と刷新
～2009年10月1日 社名変更～

2010年度の取組概要及び進捗状況

2010年度の取組み「中期成長戦略へ」

1. 「SPA通販」型ビジネスモデルの構築

- 企画のスピード化（トレンド性の高い商品企画）
- 販売のスピード化（需要期に最大の販売）
- 在庫のスピード化（当シーズン内に在庫処分）

2. 新事業への積極的投資

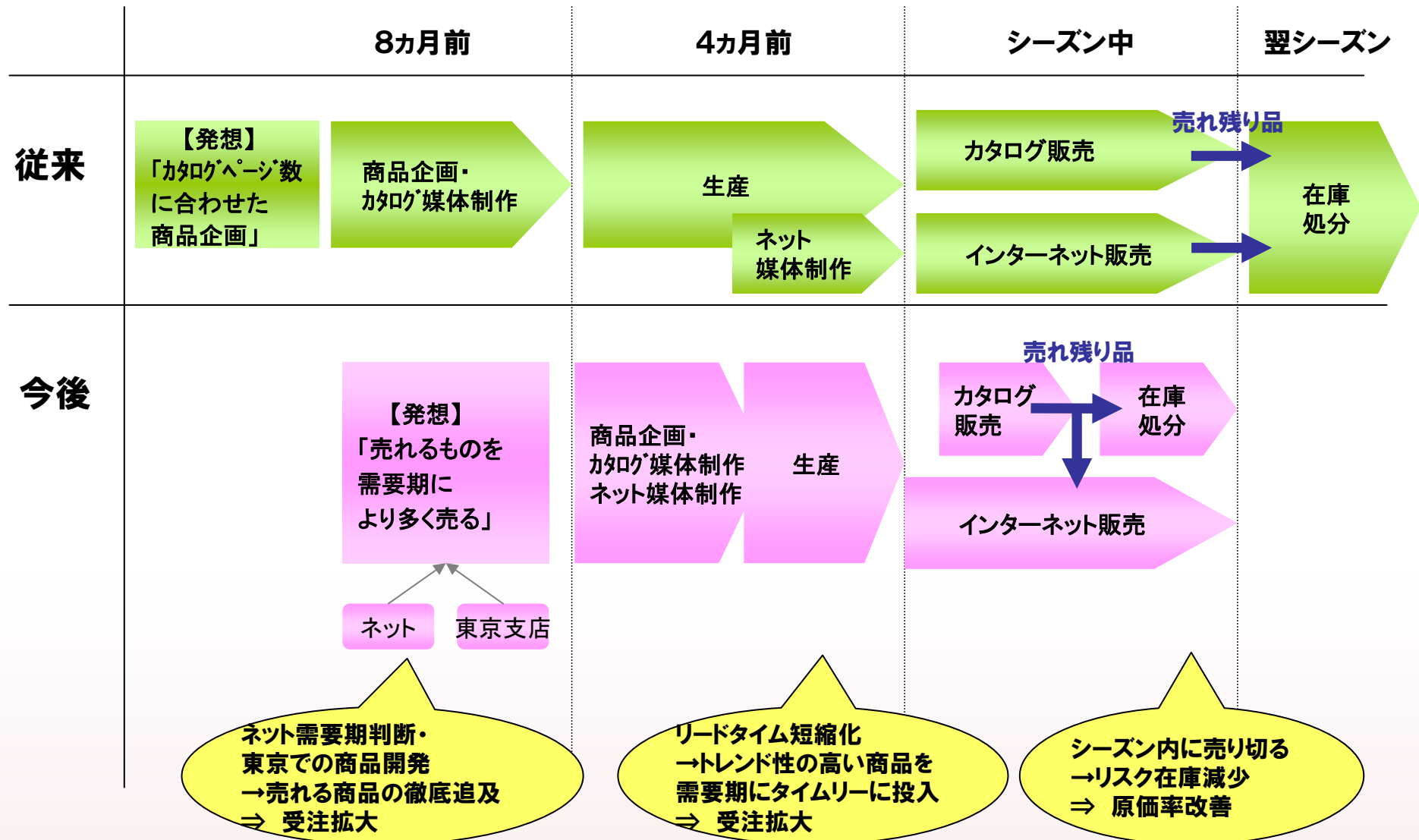
- 化粧品商材、EC事業の拡充
- M&A推進（F1層×ネットでシナジーが見込める分野）
- 生協インターネット新時代への布石

3. 東京支店機能の拡充

- 商品開発スタッフの東京支店への異動
- ソリューション事業、営業機能を東京支店へ移転

「SPA通販」型ビジネスモデル構築への取組み

■受注の最大化と原価率の低減



新事業への積極的投資 ～化粧品商材・EC事業の拡充～

■ 2010年4月、株式会社イノベートの株式取得（子会社化）

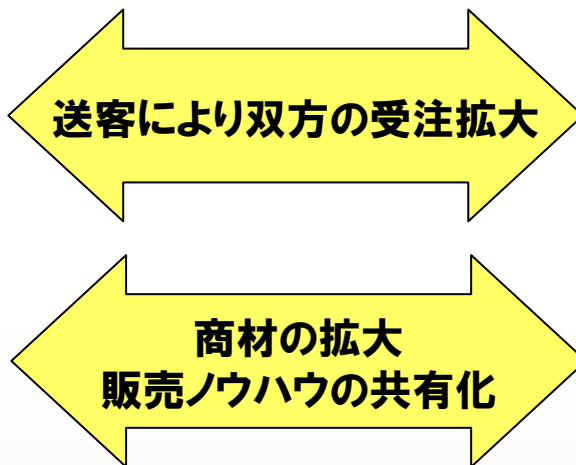
（株式会社イノベートとは・・・）

- インターネットサイト「コスメランド」において国内外ブランド化粧品を販売
- 楽天市場において、過去連続で「ショップ・オブ・ザ・イヤー」のジャンル賞獲得
- 顧客層はF1層

⇒ 顧客層の共有化による双方の受注拡大、商材拡大、販売ノウハウの共有化を目指す！

イノベート

スクロール



■ 2010年8月、当社オリジナル通販コスメ発売

資本政策

■公募増資及び第三者割当増資（2010年6月24日取締役会決議）

□目的

M & A投資資金及び将来の事業拡大に備えた運転資金の確保

□内容

	公募による新株式発行 (一般募集)	第三者割当による 新株式発行	合計
発行株式数	5,000,000株	750,000株	5,750,000株
払込期日	2010年7月12日(月)	2010年7月28日(水)	—
手取概算額	1,437,250,000円	215,537,500円	1,652,787,500円
増加する資本金	725,125,000円	108,768,750円	833,893,750円
増加する資本準備金	725,125,000円	108,768,750円	833,893,750円
調達資金の用途	12億円を短期借入金返済に充当、残額を仕入資金等の運転資金に充当予定		

□発行済株式総数の推移

2010年3月末 28,570,650株
 公募、第三者割当増資後 34,320,650株

□資本金の推移

2010年3月末 4,978,549,145円
 公募、第三者割当増資後 5,812,442,895円

2011年3月期

第2四半期(累計)及び通期業績予想

2011年3月期 業績予想【連結】

■第2四半期(累計)、通期とも修正しておりません。

(百万円)

	2010年3月期 第2四半期 (累計)実績	2010年3月期 通期 実績	2011年3月期 第2四半期 (累計)計画	2011年3月期 通期 計画	第2四半期 増減額 (増減率)	通期 増減額 (増減率)
売上高	27,805	55,672	31,500	65,000	+3,695 (13.3%)	+9,327 (16.8%)
営業利益 (営業利益率)	1,102 (4.0%)	2,178 (3.9%)	1,050 (3.3%)	2,300 (3.5%)	△52 (△4.7%)	+121 (5.6%)
経常利益 (経常利益率)	1,218 (4.4%)	2,376 (4.3%)	1,150 (3.7%)	2,500 (3.8%)	△68 (△5.6%)	+123 (5.2%)
当期純利益	1,130	1,655	650	1,500	△480 (△42.5%)	△155 (△9.4%)
自己資本利益率 (ROE)	5.7%	8.3%	3.3%	7.5%	—	—

投資計画

着手 完成

□システム再構築（Inet事業等） 2008年 9月～2012年 3月 **約 28 億円**

■償却費用等見通し

（百万円）

2009年3月期 （実績）	2010年3月期 （実績）	2011年3月期	2012年3月期	2013年3月期	2014年3月期
26	195	450	550	460	300

※ システム再構築の計画を見直すこととともない、2010年3月期において、上記費用のほかに、既に建設仮勘定に計上した229百万円を特別損失に計上しております。

※ 計画見直しの内容については、現在検討中であり、上記数値には反映しておりません。

□新規事業、M & A 投資 2010年 4月～2012年 3月 **約 30 億円**

株主還元方針

■業績連動型配当(＝配当性向主義)

- 当社は、株主の皆様への利益還元を、経営の最重要政策のひとつとして、位置づけております。
- 当社は、業績連動型配当(＝配当性向主義)を基本的な考え方とし、**連結配当性向30%**を目処として、配当を実施してまいります。
- 内部留保金につきましては、企業間競争力の維持・強化を図るための、適切な投資などに活用してまいります。
- 2011年3月期の配当金につきましては、**1株当たり中間配当金7.5円、期末配当金7.5円、年間配当金15円**を予定しております。

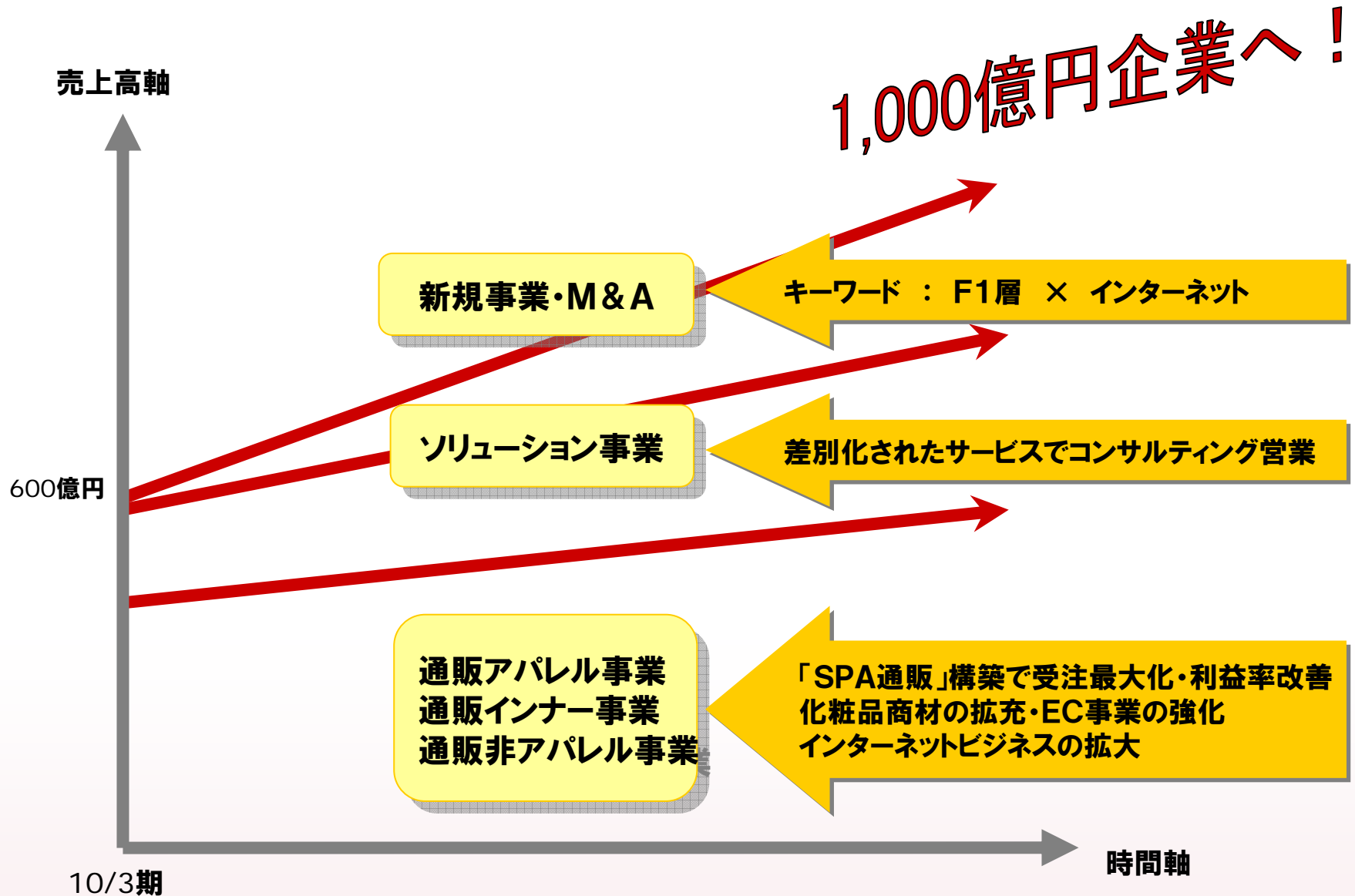
スクロールの目指す未来像

3ヵ年目標

「スクロールの目指す未来像」の実現 ⇒ グループ企業価値の向上



成長戦略 中期ビジョン 1,000億円企業を目指して



3ヵ年目標【連結】

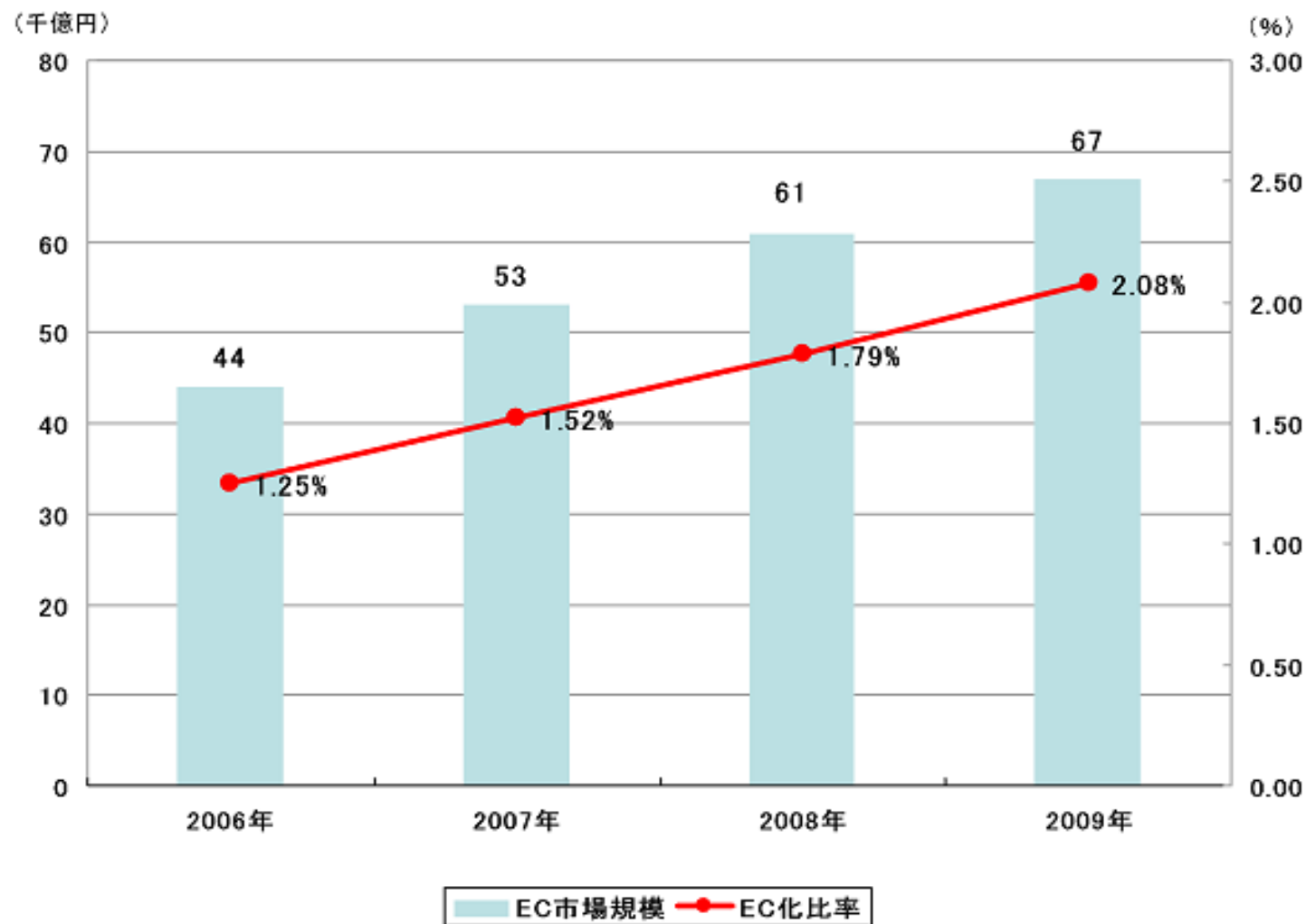
(百万円)

	2010年3月期 実績	2011年3月期 計画	2012年3月期 目標	2013年3月期 目標
売上高 (成長率)	55,672	65,000 (16.8%)	70,000 (7.7%)	75,000 (7.1%)
営業利益	2,178	2,300	2,800	3,600
経常利益 (経常利益率)	2,376 (4.3%)	2,500 (3.8%)	3,000 (4.3%)	3,800 (5.1%)
当期純利益	1,655	1,500	1,800	2,300
自己資本利益率 (ROE)	8.3%	7.5%	9.0%	11.5%

当社を取り巻く外部環境

当社を取り巻く外部環境

<国内のB to C-EC 市場規模の推移> ～着実な成長で将来に期待～



出典: 経済産業省

当社を取り巻く外部環境

<国内のB to C-EC 業種別市場規模>

業種	2008年		EC化率	2009年		EC化率
	EC市場規模 (億円)	対前年比		EC市場規模 (億円)	対前年比	
総合小売業	13,550	111.2%	3.17%	14,290	105.5%	3.60%
衣料・アクセサリ・小売業	730	128.1%	0.58%	860	117.8%	0.70%
食料品小売業	2,930	116.7%	0.48%	3,770	128.7%	0.62%
自動車・パーツ・家具・家庭用品・電気製品小売業	7,750	116.5%	2.36%	9,460	122.1%	2.81%
医薬化粧品小売業	1,720	122.0%	1.67%	2,250	130.8%	2.14%
スポーツ・本・音楽・玩具小売業	2,650	119.4%	1.52%	2,970	112.1%	1.78%
宿泊・旅行業、飲食業	8,320	127.8%	3.53%	9,090	109.3%	4.13%
娯楽業	1,020	103.0%	0.66%	1,060	103.9%	0.74%
建設業	—	—	—	—	—	—
製造業	1,700	112.6%	—	1,590	93.5%	—
情報通信業	16,280	109.4%	—	17,570	107.9%	—
運輸業	2,670	112.7%	—	2,650	99.3%	—
金融業	870	86.1%	—	800	92.0%	—
その他(卸売業、その他サービス業)	700	112.9%	—	600	85.7%	—
合計	60,890	113.9%	—	66,960	110.0%	—
合計(小売・サービス)	38,670	117.0%	1.79%	43,750	113.1%	2.08%

出典:経済産業省

当社を取り巻く外部環境：無店舗販売企業(通販)

<化粧品 通販売上高ベスト30>

順位	会社名	2009年度決算		決算期	本社所在地
		売上高実績 (百万円)	増減率 (%)		
1	ディーエイチシー	55,735	▲ 4.5	7月	東京
2	ファンケル	40,780	6.2	3月	神奈川
3	オルビス	※ 32,500	—	12月	東京
4	再春館製薬所	※ 27,000	3.1	3月	熊本
5	ドクターシーラボ	25,095	19.1	7月	東京
6	悠香	20,200	110.4	6月	福岡
7	ガシー・レンカー・ジャパン	※ 18,700	9.0	12月	東京
8	新日本製薬	※ 11,200	—	11月	福岡
9	アスカコーポレーション	※ 11,000	▲ 2.4	8月	福岡
10	アテニア	9,468	▲ 9.7	3月	神奈川
11	山田養蜂場	9,340	7.0	4月	岡山
12	ハーバー研究所	9,257	▲ 0.7	3月	東京
13	JIMOS	※ 8,725	—	3月	福岡
14	ヴァーナル	※ 8,000	—	3月	福岡
15	銀座ステファニー化粧品	7,248	3.0	9月	東京
16	イノベート	6,099	31.0	10月	島根
17	味の素	※ 6,000	—	3月	東京
18	アイム	5,714	▲ 2.5	2月	香川
19	イング	※ 5,500	—	9月	鹿児島
20	日本ロレアル(クラブ・クレアター・ポータ事業部)	※ 5,210	6.0	12月	東京

出典：日本流通産業新聞（※推定値）（2010年7月1日号）

株式会社イノベート

- 所在地
島根県浜田市熱田町1015番地3
- 資本金
36,250千円
- 設立年月日
1955年(昭和30年)4月26日

お問い合わせ窓口



経営企画部 経営企画課

TEL: 053-464-1114(直通)

FAX: 053-464-1309

E-mail: ir@mb.scroll.jp

ホームページアドレス <http://www.scroll.jp/>

★将来見通しに関する注意事項

本資料の将来の見通しに係る記述は、本資料の発表日現在における、入手可能な情報に基づき当社が計画、予想したものです。実際の業績につきましては、今後のさまざまな要因によって異なる結果になる可能性があります。